

## 令和元年度 指定管理者年度評価シート

### 1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市民会館	千葉市文化センター
条例上の設置目的	千葉市民会館設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり市民会館を設置する。	千葉市文化センター設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり文化センターを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	当該施設における実演芸術の鑑賞を通じて、文化に対する市民の興味を喚起し、さらに理解を深めるとともに、文化団体等の大規模な発表の場として、市民の文化芸術活動を支援していくこと。	長期的な視点で市民の文化芸術活動への支援や特色のある創造的な事業を行うとともに、市内の文化芸術に関する情報や人材が集まり、広く交流・発信していく場として、市の文化振興の拠点の役割を果たすこと。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	【文化芸術鑑賞の中心的役割】 ・創造性、企画性の高い実演芸術の公演の提供 ・特色のある実演芸術の公演の提供 ・利用者等のニーズに対応した実演芸術の公演の提供 ・文化芸術活動の大規模な発表の場 ・継続的な施設利用を可能とするための老朽化した施設の適切な維持管理	【市の文化振興の拠点】 ・長期継続的な取組みによる実演芸術の創造 ・市の文化を担う人材の育成 ・文化芸術の情報集積・発信、交流基地
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度の導入による市民サービスの向上により、さらに多くの市民に利用してもらおうという効果を見込んでいる。 市民会館では、突発的な修繕への柔軟な対応等老朽化した施設の適切な管理を、文化センターでは、市の文化振興の拠点施設としての役割の発揮をそれぞれ期待している。	
成果指標※	① 施設利用者数(楽屋除く) ② 使用件数(楽屋除く) ③ 実演芸術の公演本数 ④ 施設稼働率(楽屋除く) ⑤ 大ホール稼働率 ⑥ 予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	① 使用件数(楽屋除く) ② 文化振興の拠点施設としての使用件数(楽屋除く) ③ 施設稼働率(楽屋除く) ④ ホール稼働率
数値目標※	① 355,000人以上 ② 4,400件以上 ③ 24本以上(月2本以上目安) ④ 59%以上 ⑤ 平日60%以上、土日祝78%以上 ⑥ 年間0日	① 4,100件以上 ② 令和2年度10%増(平成27年度比) ③ 45%以上 ④ 平日44%以上、土日祝76%以上
所管課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

### 2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市文化振興財団
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉県千葉市中央区中央2-5-1
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	劇場法の要求を満たすべく、本市の文化振興の拠点施設を運営していくためには、長期継続的に市と一体となって文化施策を推進する役割を指定管理者が担う必要があるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

### 3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 市民会館

成果指標	数値目標※	R元年度実績	達成率※
① 施設利用者数（楽屋除く）	355,000人以上	381,762人	107.5%
② 使用件数（楽屋除く）	4,400件以上	3,495件	79.4%
③ 実演芸術の公演本数	24本以上 (月2本以上目安)	24本	100.0%
④ 施設稼働率（楽屋除く）	59%以上	48.5%	82.2%
⑤ 大ホール稼働率	平日 60(59)%以上 土日祝 78(76)%以上	平日 61.2% 土日祝 69.8%	平日 102.0% 土日祝 89.5%
⑥ 予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	年間0日	0日	100.0%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

イ 文化センター

成果指標	数値目標※	R元年度実績	達成率※
① 使用件数（楽屋除く）	4,100件以上	3,540件	86.3%
② 文化振興の拠点施設としての使用件数（楽屋除く）	平成32年度10%増 (平成27年度比) 平成27年度983件	1,060件	98.1%
③ 施設稼働率（楽屋除く）	45%以上	38.3%	85.1%
④ ホール稼働率	平日 44%以上 土日祝 76%以上	平日 45.2% 土日祝 63.4%	平日 102.7% 土日祝 83.4%

※ ②数値目標は最終年度目標を平成27年度比10%増（平成27年度は983件）としており、それに対する達成率を算出している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	R元年度実績

### 4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R元年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	377,111	370,375	実績－計画 7,446	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取消による補償額
	計画	369,665	370,375	計画－提案 △ 7,008	消費税率の設定（提10%→計8%）による差
	提案	376,673	381,131		
利用料金収入	実績	137,735	153,056	実績－計画 △ 13,684	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取消による
	計画	151,419	145,936	計画－提案 △ 515	消費税率の設定（提10%→計8%）による差
	提案	151,934	149,151		
その他収入	実績	11,543	11,730	実績－計画 △ 15,285	公演等の入場者数・チケット単価の見込と実績の差
	計画	26,828	28,437	計画－提案 △ 1,400	鑑賞事業の公演料削減のため
	提案	28,228	28,928		
合計	実績	526,389	535,161	実績－計画 △ 21,523	
	計画	547,912	544,748	計画－提案 △ 8,923	
	提案	556,835	559,210		

イ 支出

(単位：千円)

費目	R元年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
人件費	実績	266,951	266,974	実績－計画 1,902	人員構成の差
	計画	265,049	281,446	計画－提案 △ 15,002	舞台職員の委託増による減少
	提案	280,051	284,135		
事務費	実績	80,035	78,486	実績－計画 △ 1,981	施設利用取消による光熱水費の減
	計画	82,016	76,362	計画－提案 △ 4,888	消費税率の設定(提10%→計8%)による差
	提案	86,904	86,904		
管理費	実績	14,664	14,309	実績－計画 △ 457	修繕費の削減に努めたため
	計画	15,121	15,020	計画－提案 33	
	提案	15,088	15,088		
委託費	実績	140,857	133,917	実績－計画 △ 3,222	契約差金
	計画	144,079	132,650	計画－提案 12,388	舞台職員の委託増
	提案	131,691	131,691		
その他事業費	実績	26,971	27,955	実績－計画 △ 6,080	事業内容変更による公演料等の削減
	計画	33,051	30,762	計画－提案 △ 1,400	鑑賞事業の公演料削減のため
	提案	34,451	32,742		
本社費・共通費	実績	7,470	7,859	実績－計画 △ 1,126	経費の削減に努めたため
	計画	8,596	8,508	計画－提案 △ 54	消費税率の設定(提10%→計8%)による差
	提案	8,650	8,650		
合計	実績	536,948	529,500	実績－計画 △ 10,964	
	計画	547,912	544,748	計画－提案 △ 8,923	
	提案	556,835	559,210		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

【提案】	(市民会館) 11,849千円×33%=3,910千円	(文化センター) 11,849千円×40%=4,740千円
※算定根拠	平成28年度経常収益積算額に占める指定管理料及び利用料金等の合計金額の割合で按分した金額を算定根拠とした。	

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R元年度	【参考】 H30年度
自主事業収入	実績 19,622	22,547
その他収入	実績 0	0
合計	実績 19,622	22,547

イ 支出

(単位：千円)

費目	R元年度	【参考】 H30年度
人件費	実績 6,546	6,707
事務費	実績 11,626	12,493
管理費	実績 0	0
委託費	実績 405	300
使用料	実績 411	411
事業費	実績 0	0
利用料金	実績 1,500	1,501
その他事業費	実績 0	0
本社費・共通費	実績 0	0
合計	実績 20,488	21,412

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R元年度	【参考】H30年度
必須業務	収入合計	526,389	535,161
	支出合計	536,948	529,500
	収支	△ 10,559	5,661
自主事業	収入合計	19,622	22,547
	支出合計	20,488	21,412
	収支	△ 866	1,135
総収入		546,011	557,708
総支出		557,436	550,912
収支		△ 11,425	6,796
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

ア 市民会館

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数（楽屋除く）	B	
使用件数（楽屋除く）	D	新型コロナウイルス（R2.3→119件、H31.3→323件）
実演芸術の公演本数	C	
施設稼働率（楽屋除く）	D	新型コロナウイルス（R2.3→18.65%、H31.3→57.29%）
大ホール稼働率	C	平日と土日祝の平均値により評価
予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	C	

イ 文化センター

評価項目	市の評価	特記事項
使用件数（楽屋除く）	C	
文化振興の拠点施設としての使用件数（楽屋除く）	C	
施設稼働率（楽屋除く）	C	
ホール稼働率	C	平日と土日祝の平均値により評価

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。  
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）  
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）  
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満  
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満  
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	増加額の要因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う市からの、実質的な補填金に相当する指定管理委託料の変更によるもので、削減額の主な要因は消費税率の設定の差によることから、選定時の提案額と同額として評価

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。  
 A：選定時の提案額から10%以上の削減  
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減  
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減  
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)  
 -：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
<b>1</b>	<b>市民の平等利用の確保・施設の適正管理</b>	C	C	
	市民の平等利用の確保			
	関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応			
<b>2</b>	<b>施設管理能力</b>	C	C	
	<b>(1) 人的組織体制の充実</b>			
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	<b>(2) 施設の維持管理業務</b>			
	施設の保守管理			
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
<b>3</b>	<b>施設の効用の発揮</b>	C	C	アーティストへ活動の場を提供したり、文化活動を担う人材の育成に努めたほか、市民に数多くの芸術鑑賞機会を提供する等、文化振興の拠点としての役割を十分踏まえた活動実績を残した。
	<b>(1) 幅広い施設利用の確保</b>			
	開館時間・休館日			
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	<b>(2) 利用者サービスの充実</b>			
	利用者への支援			
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	<b>(3) 施設における事業の実施</b>			
	施設の事業の効果的な実施			
	自主事業の効果的な実施			
<b>4</b>	<b>その他</b>	C	C	
	市内業者の育成			
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
引き続き、良好な管理運営を実施されたい。	平成30年度	利用者が安全かつ衛生的に利用できるよう清掃、設備保守を実施します。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用におけるアンケート調査 イベントにおける顧客満足度調査
	回答者数	市民会館 述ベ121件 文化センター 述ベ122件
	質問項目	事業報告書「6 アンケート結果報告」及び「顧客満足度調査結果」参照
結果	事業報告書「6 アンケート結果報告」及び「顧客満足度調査結果」参照	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
洋式トイレを増やしてほしい（両館）	早急な増設・取替は困難であることを説明するとともに、利用可能な館内他の洋式トイレ等を案内した。
会議室が暑い・寒かった（個別に空調を管理できないが）（市民会館）	当館の空調調節は中央管制室で一括管理をしているため、調整が必要な場合は受付に連絡するよう案内した。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	<p>市民会館は、施設利用者数、実演芸術公演の本数では目標達成、大ホール稼働率についても89%であった。予防修繕の未実施による利用不可能日数については、0日であることから、概ね良好である。</p> <p>文化センターは、ホール稼働率については、平日は目標達成、土日祝は86%の稼働率であり概ね良好である。また、「文化振興の拠点施設としての使用件数」では、令和2年度（指定管理期間の最終年度）目標の1,080件に対し1,060件で達成率98.1%と、順調に目標値に近づいているといえる。</p> <p>市民会館、文化センター共に、2月からの新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための施設使用の取消により、施設稼働率、利用料金収入等に大きな影響を受けたことが考えられる。</p>
------	---	----	---

(2) 市による評価

総括評価	C	所見	<p>概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により使用件数や稼働率の落ち込みがある中で、市民会館での実演芸術の公演本数や文化センターでの拠点施設としての成果指標は目標を達成しており、各施設の特色を活かした運営を実施している点は評価できる。</p> <p>一方、市民会館では、施設の老朽化に伴い突発的な不具合が生じる恐れがある他、両施設ともに使用件数や施設稼働率など数値目標が未達成の指標がある。これらの状況に留意しつつ、各館で連携をとりながら市民の文化芸術活動を支援する施設として適切な維持管理、サービスの向上を図りたい。</p>
------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>ア 市の作成した年度評価案の妥当性について 市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。</p> <p>イ 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について (ア) 文化センターについて、文化振興の拠点として、子ども支援事業に取り組んでおり、良好な企画・運営をされている点が評価できる。 (イ) 文化センターの必須業務として、新型コロナウイルス感染症の影響で活動の場が減っているアーティストのサポートに取り組まれない。 (ウ) 指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、財務状況は良好であり、特段の問題はみられないことから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。</p>
---